

阿波市全庁評価シート 平成26年度実施事業対象

PLAN	No.	31	1	基本事務事業名	青少年育成センター事務	事務事業名	青少年育成センター事務	公的関与	4	シート作成日	平成27年6月30日			
	部局名	教育委員会		課名	青少年育成センター	主務課長名	松原 美子		シート作成者名	野口 新介				
	事業区分	<input checked="" type="radio"/> 1 ソフト事業		<input type="radio"/> 3 経常的事務事業		<input type="radio"/> 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直営		<input type="checkbox"/> 3 全部委託			
		<input type="radio"/> 2 ハード事業		<input type="radio"/> 4 施設の維持管理		<input type="radio"/> 6 内部管理事務・その他			<input type="checkbox"/> 2 一部委託		<input type="checkbox"/> 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)		1. 人が輝くまちづくり			実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(5) 青少年の健全育成			<input type="radio"/> 1 該当		平成	年	~	平成	年	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし
		主要施策		(1) 健全育成体制の整備			<input checked="" type="radio"/> 2 非該当		根拠法令等					
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	市内青少年											
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	環境浄化と子どもたちにとって住みよいまちづくり、また青少年の非行防止と健全育成を図ります。										
			今年度	関係機関・団体を中心とした非行防止や有害環境の浄化、補導などの活動を促進し、健全な社会環境づくりを進めます。										
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 警察、関係機関との連携による補導活動、児童の登下校時のパトロール													
	② 健全育成活動の実施(親子ふれあい「手づくり工房」・自立支援活動・広報活動(非行防止標語・ポスターの募集・リーフレットの作成配布など))													
	③ 環境浄化活動の推進(白いポストを利用した有害図書・ビデオ類の回収)													
	④ 相談活動(青少年、保護者及び関係機関)													
	⑤ HPへの不審者情報の掲載、パトロール時やケーブルテレビでの広報活動													
数値目標(事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由	単位		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	最終目標					
	補導活動回数	子どもたちの安全及び犯罪行為の予防として		回	目標	55	55	55	60					
					実績	48	48							
	有害図書類の回収	環境浄化活動の一つの指標として		回	目標	70	70	70	70					
					実績	48	48							
	防犯教室の開催	小中学生の防犯意識向上の指標として		回	目標	10	10	10	10					
		実績	8		9									
予算費目	会 計	一般会計			款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	8	青少年育成センター費	
DO	直接事業費	平成 25 年度決算		平成 26 年度決算		平成 27 年度予算		備考						
		国庫支出金	千円		千円		千円							
		県支出金	千円		千円		千円							
		地方債	千円		千円		千円							
		その他特定財源	千円		千円		千円							
		一般財源	2,391 千円		2,755 千円		3,032 千円							
	計(A)	2,391 千円		2,755 千円		3,032 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
		臨時・嘱託職種												
		臨時・嘱託工数・経費	3.000 人	0 千円	3.000 人	0 千円	3.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		2,391 千円		2,755 千円		3,032 千円								

		チェック項目					一次評価		一次評価の説明	二次評価	
							○ 少ない	● 大きい		○ 少ない	● 大きい
必要性	1.	市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					○ 少ない	● 大きい	青少年の非行・犯罪等は増加傾向にあり、凶悪犯罪や親に対する犯罪も増加しております。また、不審者の出没もあり、青少年が大きな事件に巻き込まれる恐れがある今、育成センターの活動が必要です。	○ 少ない	● 大きい
	2.	厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					○ ない	● ある		○ ない	● ある
	3.	住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。					○ ある	● ない		○ ある	● ない
	4.	住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					○ いる	● いない		○ いる	● いない
有効性	1.	施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					○ いえない	● いえる	街頭補導・長期休業中及び市内イベント等の開催時の合同補導、巡回指導、また、ホームページでの不審者情報掲載などで効果を上げています。	○ いえない	● いえる
	2.	事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					○ いえない	● いえる		○ いえない	● いえる
	3.	市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					○ する	● しない		○ する	● しない
	4.	事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					○ できない	● できる		○ できない	● できる
達成度	1.	目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					○ 目標に比べて劣っている		目標は概ね達成しています。26年度の補導件数は0件、相談件数は102件(H25年 補導件数0件、相談件数119件)多数の相談等があり、不審者による被害は減少しております。補導活動や啓発活動等の効果が現れていると思います。	○ 目標に比べて劣っている	
	2.	目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					○ あまり上がっていない			○ あまり上がっていない	
	3.	目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					● 概ね達成している			● 概ね達成している	
	4.	目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					○ 十分達成している			○ 十分達成している	
効率性	1.	効果に比べてコストが高い。					○ 高い	● 適当	コストに比べて十分な効果が得られていると考えます。効果を更にするためには、新たな制度の活用が考えられます。	○ 高い	● 適当
	2.	他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					● できる	○ できない		● できる	○ できない
	3.	予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					○ ある	● ない		○ ある	● ない
	4.	電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					○ ある	● ない		○ ある	● ない
ACTION	評価点	一次評価					二次評価				
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	今後の方向性	4	4	3	3	A	4	4	3	3	A
		● 拡大・充実	○ 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等		○ 拡大・充実	● 現状維持	○ 方法改善	○ 民間委託等	
	当面の課題	○ 縮小	○ 統合/終期設定	○ 廃止/休止	二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
青少年を巡る昨今の状況は、いじめ、不登校、引きこもり等、少年犯罪の凶悪化や増加など様々な問題が発生している。また、連れ去り、誘拐等に青少年が被害に遭う事件も多発しており深刻な社会問題となっている。そういった環境の中で、地域をあげて青少年を指導・援助する体制が必要です。また、青少年の就労支援も育成センターの運営課題であると思います。					関係機関との連携を密にし、事業を推進してください。						
改革案と実行計画	防犯意識の向上や、警察・関係団体との連携を密にとりながら安全な町づくりのための活動を推進していくとともに、不審者情報等にはいち早く対応できる連絡体制の構築を行っていきます。青少年の就労支援等についても、ハローワークや関係団体と連携を図っていきます。										
委員会指摘事項											